

SALMON 情報

創刊号

2007年1月

- 増殖効率化モデル事業
- ベーリング海を中心とした流し網さけます資源モニタリング 2006
- 中国水産物調査を通して見えた秋サケ輸出と日本の課題
- 水温制御による安全かつ簡易なヒメマス全雌生産技術の開発
- 中禅寺湖においてヒメマスの新たな資源研究を開始
- サケ科魚類を守る取り組みーサケ科魚類の特定疾病ー
- 北太平洋と日本における さけます類の資源と増殖
ほか



(図版提供：貝澤幸司 氏)

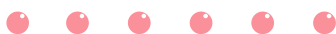
編集 さけますセンター



独立行政法人
水産総合研究センター

目次

- ・ 創刊号の発刊にあたり 3
- ・ 増殖効率化モデル事業 4
- ・ ベーリング海を中心とした流し網さけます資源モニタリング 2006 6
- ・ 中国水産物調査を通して見えた秋サケ輸出と日本の課題 9
- ・ 水温制御による安全かつ簡易なヒメマス全雌生産技術の開発 12
- ・ 中禅寺湖においてヒメマスの新たな資源研究を開始 14
- ・ サケ科魚類を守る取り組みーサケ科魚類の特定疾病ー 16
- ・ 東北区水産研究所が取り組む さけます類に関する業務 18
- ・ 日本海区水産研究所が取り組む さけます類に関する業務 20
- ・ さけます関係研究開発等推進特別部会の開催 22
- ・ 札幌で開催された 2006 年 NPAFC 調査計画調整会議 24
- ・ 2006 年 NPAFC 年次会議：科学調査統計小委員会 (CSRS) の概要 25
- ・ 北太平洋と日本における さけます類の資源と増殖 27
- ・ さけます展示施設訪問 (柏崎さけのふるさと公園) 29



mini column

表紙の絵は、北海道平取町在住の貝澤幸司さん作画のサケです。その身体に描かれているのは「モレウ」（渦巻型）と「アイウシ」（弧型）と呼ばれる基本曲線からなるアイヌ民族伝統の文様で、この独特の文様には芸術性だけでなく、魔除けなどの意味も込められているといわれています。

アイヌ語ではサケを「カムイチェブ＝神の魚」あるいは「シペ＝本当の食物」と言うそうです。その名からサケがどれ程重要で大切にされてきたか窥えます。昔も今も人々にとって親しみ深く貴重な魚サケ。その恵みが将来も続くよう、これからも大切に守っていききたいですね。

